

9月10日は下水道の日

『下水道 住みよい暮らしの サポーター』



結城市下水浄化センターの全景

57年前の日本はほかの先進国と比べて、下水道の普及が遅れていました。そこで建設省（現在の国土交通省）が、1961年9月10日を「全国下水道促進デー」として制定しました。2001年には、より親しみのある「下水道の日」と名称が変わりました。由来として、下水道は「雨水の排除」を担い、立春から数えて220日目ごろが、台風襲来シーズンであるので、9月10日が「下水道の日」となりました。

下水道の大切な役割



下水道マスコットキャラクター「スイスイ」

- ◎暮らしを清潔にする
家庭から出たトイレやお風呂の水など、生活をしていく中で発生した汚水を、浄化センターできれいな水に浄化します。
- ◎浸水から街とわたしたちの身を守る
大雨が降ると街が雨水であふれてしまします。道路側溝をとおして、雨水を流すことにより、街を浸水から守り、わたしたちの身も守ります。
- ◎水質を保全する
家庭や工場から出た汚水は、きれいに浄化してから川に放流するので、川が汚れることはありません。

下水道の日にちなみ、イベントの開催および下水道促進週間コンクール作品の展示を行います。お気軽にお立ち寄りください。

「下水道の日」イベント

- 日時 9月1日（土） 午前9時30分～午後3時
- 場所 ヨークベニマル 結城四ツ京店 店舗前（結城11839-1）
- 催事 下水道なんでも相談・コンポスト（肥料）配布・缶バッチ作成ポップコーン・かき氷・わたあめ・金魚すくい（いずれも無料）
- 協力 結城市管工事協同組合、ヨークベニマル結城四ツ京店



下水道促進週間コンクール作品の展示

- 日時 9月8日（土）～18日（火） 午前10時～午後8時
- 場所 しるくろーど2階 空き店舗部分
- 協力 (株) しるくろーど



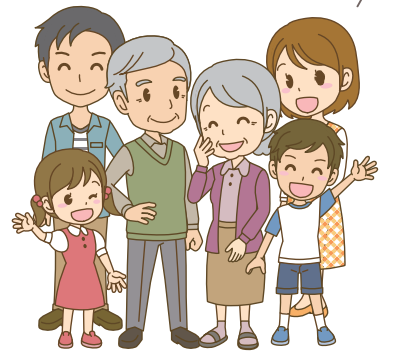
市下水道課
☎34-1612

問

9月は「茨城県認知症を知る月間」です

認知症という言葉は知っていても、「親や身近な人が、認知症になったらどうすればいいかわからない」そんな不安を抱いている方は多いのではないのでしょうか。

認知症はだれにでもなる可能性のある病気です。他人事ではなく自分たちの問題として、認知症を「知る」ことからはじめてみませんか。市では講演会や、認知症サポーター養成講座など認知症の正しい知識の普及・啓発に取り組んでいます。ぜひお気軽にご参加ください！



ひょっとして認知症かな？と気になり始めたら、チェックしてみましょう

認知症の気づき「チェックリスト」

- ☐ 財布や鍵など、物を置いた場所が分からないことがある。
- ☐ 5分前に聞いた話を思い出せないことがある。
- ☐ 今日が何月何日か分からない時がある。
- ☐ 言おうとしている言葉がすぐに出てこないことがある。
- ☐ 通り慣れた道でも迷うことがある。
- ☐ 趣味や楽しみに関心を示さなくなった。
- ☐ 不安が強くなったり、すぐ怒るなど情緒不安定になることがある。

気になることや不安なことがありましたら、**市地域包括支援センター**へ！
認知症についての相談をお受けしています。



認知症を知る講演会 ～こんな時どうする？ 認知症の症状と対応方法～

- 日時 9月16日（日） 午後2時～午後4時
（受付は午後1時30分から）
- 場所 市民文化センター アクロス 小ホール
- 講師 筑波大学附属病院 認知症疾患医療センター 江湖山 さおりさん
- 内容 認知症の原因や症状、対応のポイントなどを、具体的な事例を交えてお話しします。
- 申込 9月12日（水）までに電話にて申込みください。



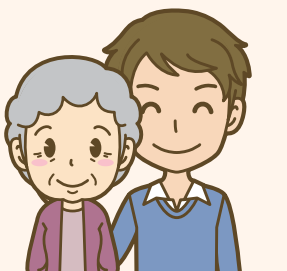
認知症サポーター養成講座

「認知症サポーター」とは、特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守る人のことです。

受講を希望される方は、お気軽にお問合せください。

【今年度の開催日】

- 10月20日（土） 午後1時30分～午後3時
市民情報センター スペースB
- 12月5日（水） 午後1時30分～午後3時
JA北つくば結城南支店
- 平成31年2月8日（金） 午前10時～午前11時30分
南部中央コミュニティセンター



問 市地域包括支援センター | ☎34-0324